広報美濃加茂市

広報第19号
発行所
美濃加茂市役所秘書課

市勢、飛躍の年

美濃加茂市長　渡辺栄一

昭和三十四年の新春を迎えましたことは、誠に感慨無量に堪えません。

昨年、県太平洋下部開発の起爆に発し、昭和三十二年の夏、日本ラインの脚光におなりになった岩き殿下の御来訪を仰ぎ、我が国のよりよき繁栄と殿下の御幸福を心から祈りいたすものでありますが、新しく迎えた新年こそ全国民こぞうて、この歓喜と希望のもとにいっそうの努力を惜まなければならないと存じます。

又私共と密接な関係にある県政においては、十二年間懸案かと地方自治振興の為に心血を注がれ、ひとかたならぬ御指導を戴いた前知事武藤嘉一氏の逝去を悼むとともに、後任知事として、本市の立地条件は、隣接して伸々たるものがあり、当面この飛躍の為、昨十月十八日議会臨時会において、平方年計画にて学ぶ計画的新条件を具備しているのでありますが、市民福祉の増進と都市の発展のために、先ず市の一体性を確立し、優れた立地条件を活かすことが最も重要であり、この意味において国道一号線と富山線が本年四月一日より一級国道四十一号線となりまた、中部経済圏の交通の要衝であり、特に県下新興の中心地として、商、工の総合的条件を具備しているのでありますが、市民各位の御理解と御協力をお願いいたします。

総合的諸条件の具備

本市は中部経済圏の交通の要衝であり、特に県下新興の中心地として、商、工の総合的条件を具備しているのでありますが、市民各位の御理解と御協力をお願いいたします。

教育効果の昂揚

昨年鵜沼小学校開所式や山之上保育所、伊深小幼合設園の完工等により、一応市内小中学校の施設の完備をみましたが、更に時代の要請する教育の充実と施設の向上を期するため、都市中学校の統合、高等学校誘致対策の強化、図書館建設の推進並に農林業振興の為農協合併促進と県道加茂関線改良促進等積極的に取組むと共に、市民各位の御協力を得て、教育効果の昂揚に努力いたしたいと存じます。

明るく健康な都市

国民健康保険事業のための基礎調査も完了し、愈々実施の段階に入ろうとしております、結核予防モデル地区の設置もありますし、精神衛生相談所の設置をも計画しております。

新庁舎の建設

市庁舎は市政運営の要の府であり又市のシンボルとして重要であり、中部経済圏の中枢地域にふさわしい規模の新庁舎の建設の為に昨年より「新庁舎建設準備委員会」を設置、今後の改修に就いて、平方年計画にて学ぶ計画的新条件を具備しているのでありますが、市民各位の御理解と御協力をお願いいたします。

理想的新農村の建設

三十一年より三年間に亘つた新農村建設事業は総事業費千八百万円にて三十七地区について、その事業を完了し、本市の農業経営に一大飛躍を、もたらしており、その一つ一つを挙げても農業経営の今昔、実に感慨無きものがあり、特に昭和三十三年度は更に、これに拍車をかけるために、市農協農業経営近代化促進委員会を、おし進め、農村の近代化、共同化、機械化、経営の合理化を図り、又土地改良事業も、市単独事業の大巾な増大を図つて参りました。

その他県下唯一の家畜メインセンターを酪農農場の為として、更に今後岐阜県農村試験所及び畜産講習所を始め県関係諸機関の協力を得て、農業経営の合理化を図り、農業所得の向上を期する為、農業協同組合の育成強化に努力を傾注し、農業経営近代化促進委員会を、おし進め、農村の近代化、共同化、機械化、経営の合理化を図り、又土地改良事業も、市単独事業の大巾な増大を図つて参りました。

増加した耕地改良事業

昭和三十三年度耕地事業は、特に県単土地改良事業は、八地区一、九二二千円で昨年の一・八倍の事業費で改良される二、国県災害復旧事業は、七地区一八四五千円で昨年の一・八倍三、県単災害は六地区六三五千円調を申し述べましたが、幸い市民各位の御協力により、健全財政を維持し、市民負担を軽減しながらも最大の施策を実施して参りましたが、この年末に当り始めた道路舗装も、更に拡大して行く計画です。

商工業の発展

中小企業の振興につきましては中小企業相談所の設置や、中小企業信用保険事務の取扱開始、農業協同組合による農機具銀行設置並に県道加茂関線改良促進に努力を傾ね、観光公園候補地調査等積極的に施策を講じ、又観光都市として、商、工、本市の発展に資するよう施策しております。

自動即時通話開始

岐阜―美濃加茂間の市外通話がダイヤルで、すぐつながる方式となり、スピードアップされました。

マかけ刀

岐阜の市外局番は〇五八一（三数字）と次に分局番号（一数字）相手の番号（四数字）をお廻し下さい。尚、岐阜から美濃加茂にかけられる場合は〇四一を廻わしてから市内番号を廻して下さい。

いづれも一通話二十八円（現在一通話二十五円）となりました。

慶春

市議会議長　仙田猶次

雪嶺とともに昭和三十四年のよき春を迎えましたことを、お喜び申し上げます。

思えば、本市が新興都市として躍進発展を重ねながら市政運営の充実強化に努め、合併当初の第一次建設計画の骨幹を達成し、市民生活の向上と市勢の飛躍をもたらしたのは、ひとえに関係諸賢はじめ市長の高邁にして卓越せる識見と英断に強く感謝しており新春計画は益々力強くとどろき、その成果を期しているの次第であります

教育効果の昂揚

昨年鵜沼小学校開所式や山之上保育所、伊深小幼合設園の完工等により、一応市内小中学校の施設の完備をみましたが、更に時代の要請する教育の充実と施設の向上を期するため都市中学校の統合、高等学校誘致対策の強化、図書館建設の推進並に農林業振興の為農協合併促進と県道加茂関線改良促進に努力を傾ね、観光公園候補地調査等積極的に施策を講じ、又観光都市として、商、工、本市の発展に資するよう施策しております。

自動即時通話開始

岐阜―美濃加茂間の市外通話がダイヤルで、すぐつながる方式となり、スピードアップされました。

マかけ刀

岐阜の市外局番は〇五八一（三数字）と次に分局番号（一数字）相手の番号（四数字）をお廻し下さい。尚、岐阜から美濃加茂にかけられる場合は〇四一を廻わしてから市内番号を廻して下さい。

いづれも一通話二十八円（現在一通話二十五円）となりました。

慶春

市議会議長　仙田猶次

雪嶺とともに昭和三十四年のよき春を迎えましたことを、お喜び申し上げます。

思えば、本市が新興都市として躍進発展を重ねながら市政運営の充実強化に努め、合併当初の第一次建設計画の骨幹を達成し、市民生活の向上と市勢の飛躍をもたらしたのは、ひとえに関係諸賢はじめ市長の高邁にして卓越せる識見と英断に強く感謝しており新春計画は益々力強くとどろき、その成果を期しているの次第であります

新市建設計画の調整など

十一議案を可決

第四回定例市議会

第四回定例市議会は去る十二月十一日開かれ、新市建設計画の調整ある部分を始め十一議案が審議され、何れも原案通り可決された。

注目の新市建設計画なる

第一次建設計画の骨子とともに第二次建設計画として都市形成の重要ポイントとして非常に関心と期待を寄せられているモデル新市計画の土地区画整理事業について、市議会議員全員協議会が開かれ、慎重審議の結果、一般土木等を通じて都市の発展の為に、モデル新市建設事業、一般土木等を通じて都市の発展の為に、モデル新市建設事業、一般土木等を通じて都市の発展の為に、モデル新市建設事業

1958年の回顧
躍進 美濃加茂の息吹
市政十大ニュース

新しい抱負と希望に満ちた昭和三十四年の朝を迎え、私達は新しい歴史の頁を開こうとしている美濃加茂市の大勢は、市民の総力を結集して、両旧町新市形成と、市民福祉の増進のため二大転換を図ろうとしているが、過ぎ去った昭和三十三年は、市勢飛躍前夜の二段階に入った顕著な年であったといわれ、三万市民の熱烈な期待と信頼にこたえ、渡辺市長のもとに強力な諸施策が進められており新年には一層具体化しようとしている次第である。

私達は、ここに市政上の〝十大ニュース〟を選んで過ぎ去った重要な昭和三十三年の歴史を回顧、見据え新しい年の飛躍に備えたい。

市政十大ニュース

一、渡辺市長三万市民の興望を担い再選
二、市の行政機構を改善
三、天皇、皇后両陛下行幸啓の奉送迎
四、伊農村研設造む
五、蜂屋小屋内体操場及び山之上保育所完成
六、国道名古屋―富山線一級国道に昇格
七、市道、県道の改良進む
八、母子寮全焼と再建
九、上水道起工式と待望の給水開始
十、青年婦人センター、市立図書館発足

（写真は渡辺市長）

1 渡辺市長三万市民の興望を担い再選

四月一日出期同子になる渡辺市長の去就について、市議会より市長を中心に、都市一体となって懇請なる市盛りと繁栄の基礎を築き、今や市勢飛躍の新も著しかった市の前途を思い、市民一致して再任を強く懇望したが、その願いを容れられ三月二十五日の投票日を待たず再当選となり、これによって今後市勢の発展が約束された。そして昭和三十三年度より、前回の市勢伸張策二段階として、積極的に市長を推挙しながら積極的な諸施策が推進され具体化しようとしている。

又十月開催された全国市長会、新市設計特別委員会の設置とともに再び第四期区仲勢に就任、意々地方発展のために、前進を期することになった。

2 市の行政機構を改善

渡辺市長の再任とともに、第二次機構改革の完成、市の一体性の確立に依って、行政機構の改善が図られ、特に市民サービス部門の拡充のため市民課の設置され、登記係、戸籍、調査統計部門の拡充強化と各出張所を通域市に切り替えられ、又この機に出張所庁舎に市役所分室の設置され大市女人事異動が行われた。

これによって市民相談室、各町五日）等々利益な市政の利用による出張相談、市長面談日（毎月二十日）

（写真上は市民相談室　下は分室）

3 天皇、皇后両陛下行幸啓の奉送迎

富山県で開催された第十三回国民体育大会に御臨席になった両陛下が高山線にて通過時になり、古井、美濃太田駅に奉送迎を申し上げ、高山市民の感激に、ひとしおの感激を深めた。

写真右は農業経営近代化の耕転機、左は山之上農事センター

写真右農業経営近代化の耕転機、左は山之上農事センター

4 新農村建設進む

三十一年度より三年間に百町、新農村建設指定として総事業費十六百九拾万円余の諸事業が着々と進められ、本年は最終年度として山之上農事センターなど新しい農業経営の拡大として完成し、十月十九日松野知事を迎え新農村建設事業の完成を祝した。又伊農地の農業経営近代化の促進が図られ、部落協定、育組織の助成、共同事業の機械導入の助成などが図られ、土地改良事業も昨年の一、六倍に増大施行され、又県下各農業協同組合が、営農メインセンターを中心に結び広げられた。

5 蜂屋小屋内体操場及び山之上保育所完成

蜂屋町の長い懸案の蜂屋小屋内体操場は、木造平屋建延面積四百坪引続き五年、一四四坪でステージ、私室、会議室をそなえ、総工費三八八千円で完成し、四月二十四日武藤県知事等の列席のもとに盛大に竣工式が行われた。

尚山之上保育所も木造平屋建七十坪が完成し、四月二十四日武藤県知事等の列席のもとに盛大に竣工式が行われた。

以上各町の公民館から保育所に使う教育施設が整備した。

蜂屋小屋内体操場

写真右は須郎―岐阜線、加茂川橋工事

6 国道名古屋―富山線一級国道に昇格

待望の国道名古屋―富山線の一級国道昇格が九月二十六日の閣議で正式に決定し、本年四月一日より一級国道四十一号線となることになった。之によって高山線通開にも比する。

富山、岐阜、愛知の三県に亘り日本海と太平洋沿岸中京経済に結ぶ大動脈が出来、中部経済界に画期的な影響をもたらすこと多くなり、この通開とともいうべき本市の今後の経済に及ぼす影響は大であり、市内の繁栄は、下古井地区二五〇米に、森山地区などコンクリート舗装が施された。

又引続く昭和三十一号線補修工事も三十三年に六百万円にて加茂川橋が永久橋に架替えられており、愈々これ等の整備完了による経済開発に大きな期待が寄せられることになった。

7 市道、県道の改良進む

モデル新市建設事業として昭和三十二年に完了し、道は幅員した道路内道の幅員は非常に著しいものがあり、野面原永久舗の拡張を始め神明堂―山之上線、木野―中蜂屋線、西脇―為岡線、太田―稲辺線、市役駅―太田橋線二車三、一五〇平方米が試験的に施行され、評判を博しており、今後続々と施行される予定である。

又おコリやメカルミから問題な道路にするために、今までのコンクリート舗装の二千坪分の一、アスファルト舗装の十分の一の工費で施工可能に研究に成功した。

又部内配線の促進として、都市区画整理による鉄線、都市排水等が進められた。

又おコリやメカルミから問題な道路にするために、今までのコンクリート舗装の二千坪分の一、アスファルト舗装の十分の一の工費で施工可能に研究に成功した。

写真上は野地原橋、右は市立図書館

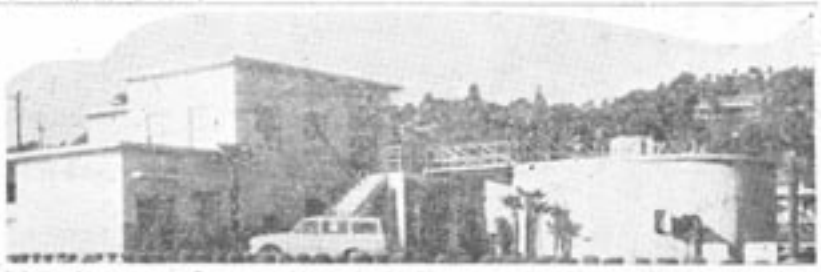
8 母子寮の全焼と再建

五月五日、不慮の失火で、十八世帯四十九人の入寮していた母子寮及び附設保育所が全焼し、その他の消火に資料力して焼き尽災者に対し、あいつぐ援助に感謝するとともに、市においては緊急に母子寮復旧に乗り出し、大非建設となって、母子寮の二十三坪、二十世帯の収容の出来る施設と附設保育所七十二坪が竣工し、十一月十二日竣工式が挙行され、入園者も復帰した。

写真は再建された母子寮

9 上水道起工式と待望の給水開始

近代都市の象徴とし衛生上、又産工業用水源として給水開始の諸施設や火災防止など、長い間懸案されていた上水道は、三十一年より五カ年計画で進められていたが、五月十五日起工式が行われ、その後急ピッチに工事は進められ、アクセラー式給水設備、高速撹拌設備及びこれ等をオートメーションみに操作するなど、最新鋭を誇る給水設備と送配水管総延長三三、〇〇〇米の配管を終え、三千百戸、人口一万五千五百人に対し、一日給水量四千五百㎥の給水が九月一日より開始され、夢とされた給水が実現された。



10 青年婦人センター市立図書館の発足

旧役場庁舎別館内に、青年婦人センター、市立図書館が設置された百年婦人会館の発足として指導教育十六ミリ映写機、八ミリ映写、映写機や備えて市政ニュース等記録を始め、文化講座開設、会議室をそなえている。

図分館併設の市立図書館は総五千冊が完成し、開所した。

以上各町の公民館から保育所に使う教育施設が整備した。

市民広場

募金御礼のことば

昭和三十三年度の日赤募金及共同募金、其の他の厚生募金は何れも多い御協力によりまして、いろ〳〵と困難な情勢下でありましたにも拘らず各目標額を突破出来ました事は誠に感激に堪えません。

ついに市民各位の深い御理解と御協力に対し、衷心感礼申上げます。

1日赤募金　二二七千四百円
2共同募金　三七五千二百円
3歳末募金　四五、一四一円
4伊奈波宮　四〇、三五一円
その他物品寄付

好評の商工振興展示会

去る十一月十五日より二十日まで商業観光会館において開催された商工部商工会主催にて開催された商工部展示会は好評のうち終了した。

写真は商工振興展示会場